

のたろんフェア 2020 報告

2020.2.20

- 目 的
- ・市民公益活動団体に、活動紹介と活動資金作りの場を提供する。
 - ・より多くの市民に市民公益活動への関心を深めてもらう機会を提供し、市民活動を始めるきっかけ作りの場とする。
 - ・参加公益活動団体がより活発に交流できる場とする。
 - ・社会貢献活動を行う企業の取り組みを紹介し、市民公益活動団体と企業、大学など地域協働のきっかけ作りの場を提供する。
 - ・被災地の復興支援を継続的に行う場とする。

日 程 2020年2月8日（土）、9日（日）10：00～15：00

場 所 横須賀市立市民活動サポートセンター及びその周辺

主 催 のたろんフェア 2020 実行委員会・横須賀市立市民活動サポートセンター

- 参加者
- 1) 全体の参加団体数 104 団体
 - 2) 2日間の来場者数 5,680 人（前年 4,577 人）
 - 3) 実行委員 12 人、運営ボランティア 54 人

内容・成果・課題

- 1) 展示（活動紹介展示 40 団体 ミニ展示 34 団体）
団体の活動を紹介する展示を行った。活動紹介展示は受付前交流サロン側に配置。
今年は初めてパネルの使用をなくしたが、各参加団体がそれぞれ工夫を凝らし、活動紹介展示を行った。参加団体アンケートには、殆どの団体より解放感があり良かった、見通しが良かった、準備・撤去がスムーズにできたと概ね好評な回答だった。パネルは必要と思うという意見は3団体のみ。ミニ展示は駐車場側ガラス面に向けて展示をした。
- 2) フリーマーケット（館内 26 団体 館外 10 団体）
活動資金集めを目的とした販売や飲食などの模擬店を行った。
館内フリーマーケットは定数を超える応募があったが、会場内のレイアウトを調整し落選団体がでないようにしたため、ブース間の空間の確保が難しく、少し手狭な感じとなってしまった。
- 3) 募金（7 団体）
いくつかのルールを定め、募金活動を行った。
- 4) 署名活動（4 団体）
いくつかのルールを定め、署名活動を行った。

- 5) スタンプラリー（参加者 333 人）※昨年参加者 353 人
来場者に各ブースを回ってもらうための企画。ブースを回ってシールを集め、6 枚集まったら景品交換所にて景品と交換してもらう。ブースに足を向けてもらうきっかけとなった。会場全体を回らないと貰えない仕組みにし、参加団体からは概ね好評であった。
2 日目（9 日）は 3 階の産業交流プラザで開催した「産業交流プラザまつり」と連携したスタンプラリーを実施した。
- 6) PR イベント 1 月 26 日（日） Y デッキ下広場（3 団体）
昨年までのプレイベントより名称を変更した。参加団体のパフォーマンス発表の場だけではなく、フェアと一緒に PR する場として企画した。雨天のため中止となったが有志が集まり横須賀中央駅 Y デッキ下広場でプログラム配布しフェア当日の PR を行った。
- 7) 市民活動ミニ体験・映像紹介コーナー（12 団体）
参加者が気軽に市民活動を体験できるコーナーを設置。映像や活動紹介なども行い、たくさんの人が関心を持って参加されていた。今年はキッズコーナーに設営した。参加団体からは少し手狭な感じがした、入り口から目立たない場所だったなどの意見があったが交流サロン側の活動紹介展示に出店した団体からは、パネルが無いことにより、ブースから見る事が出来たなどの意見もあった。実行委員会で組織した「のたろん復興応援団」主催による復興講演会は、多くの人に関心を持って聞いてくれた。
- 8) PR イベント 2 月 8 日（土） リドレ横須賀（4 団体）
昨年までのプレイベントより名称を変更した。参加団体のパフォーマンス発表の場だけではなく、フェアと一緒に PR する場として企画した。
チアダンス、カントリーダンス、ウクレレデュオ、合唱などのパフォーマンス発表を行った。参加団体も一緒にプログラムを配布するなどの PR に努めた。
- 9) パフォーマンスコーナー（12 団体）
受付付近の活動紹介コーナー センターエリアで実施。歌、ダンス、演奏、マジックなどパフォーマンス発表を行った。館内奥側のフリマ出店団体からは心地よい音楽に癒されたなどの意見があった。全体レイアウトの都合上、コーナー前の休憩コーナーを今年は移動したため、通路を広く確保したが、その分立ち止まって観る方が多く、時間帯によっては通行が分断されてしまった。
- 10) 会場装飾
恒例の塗り絵の募集を、「みんなの書く、のたろん」としたところ、学童保育の児童・津久井小学校の生徒がバラエティーに富んだ作品が集まった。展示場所は中通路ガラス面（通路側に向けて）に展示をした。創意工夫を凝らしたものが多く、会場に彩りを添えた。
- 11) 市民活動支援のための不用品募集（希望団体 9 団体）
サポートセンターでの受付分を希望団体に分配した。

12) 市民活動団体交流会

約 60 名が参加予定。参加団体報告会后に任意参加で実施。バイキング形式の飲食、実行委員企画など参加者間交流の場とする。

13) 写真コンクール（応募作品数 15 団体、投票数 372 票）

団体 PR のため団体の活動写真を公募し、フェア当日来館する方々に投票してもらった。事前 PR 展示にも応募作品を掲示し一般の方々へ参加団体の活動を PR した
今年は投票用紙をプログラム表紙に記載することで、スタンプラリー参加者が多く投票してくれた（過去最高投票数、昨年投票数 270）

応募作品展示

・1月26日（日）～2月6日（木）

サポートセンター活動紹介コーナー センターエリア

表彰式

・2月21日（金）18:30～19:30 のたろんフェア 2020 参加団体報告会内にて

14) 企業の社会貢献活動の紹介（1 企業）

活動内容を広く周知することができた

15) 私たちは忘れない ～のたろん復興応援団～

実行委員会として復興支援の取り組みを行った。

①市内避難世帯招待：被災地から市内に避難してきている家族へ、のたろんフェアのご案内と招待状を発送した。（54 世帯）

また、招待状を持って来館した方に喫茶の無料券、記念撮影、館内で使えるクーポン券を進呈した。

（2 世帯 3 名来場、クーポン券 2,000 円利用）

②復興応援団販売ブース運営：南三陸支援チーム「ありがとう」の協力により南三陸の物品販売を行った。 売上げ：37,000 円

③講演会：ミニ体験コーナーにて、のたろん復興応援団（実行委員会）主催による「横須賀の防災を考える」をテーマに講演を行った。

16) 広げよう “SDG s”

実行委員ブースを出店し SDG s の説明や缶バッジの販売を行った。休憩コーナーにポスターを掲示。団体出店ブース内にも SDG s マーク掲示し、参加団体、来場者への周知を行った。

17) のたろんフェア 2020 実行委員企画

参加団体に折り鶴を作成してもらい後日、広島平和記念公園に「のたろんフェア 2020 実行委員会」及び「市民公益活動団体」名義で奉納する。

ウクレレデュオによる“のたろん応援歌”の作成。応援歌は今後の「のたろんフェア」でも活用していきたい。（応援歌作成：ウクレレデュオえすぶれっしーぼ）

18) 来場者動員企画

積極的に動員企画を立ててもらおうと、各団体に呼び掛け、企画提案をしていただくようお願いをした。企画を提案してくれた団体は2団体。

- ・横須賀歩け歩け協会（団体の行事と連動する提案）
- ・ヨコスカウオーキング協会（団体の行事と連動する提案）

19) ミニミニ展示（22 団体）

昨年実施し好評であった、フェアに参加しない団体にも情報発信をしてもらおうという企画。A5 サイズのポスターを会場内に掲示した。団体のポスターを掲示した。

20) 産業交流プラザとの連携

2月9日（日）産業交流プラザまつり開催。今年はイベント協力開催として、事前の広報、当日のスタンプラリー開催などを行った。また産業交流プラザの協力によりフェア当日は交流サロンを一般休憩コーナーとして、また第三会議室を着ぐるみ待機所として、無料開放していただいた。

21) 備品運搬ボランティア

フェア前日準備、当日、原状復帰作業などは毎年、参加団体の多くが参加協力しているが、備品借用、返却に関しては例年、実行委員、一部のボランティアの少数で行ってきた。今年の借用(6日)、返却時(12日)には、平日の早朝にも関わらず、大学生も含めた多くの方々に協力いただき、安全面に考慮しながらもスムーズな運搬作業を行うことができた。

22) その他

募集要項発送時に登録のある公益団体全てに開催時期のアンケートを実施（回答 51 件）現状の開催時期がよい及びいつでも良いという意見が 40 件。変更希望が 11 件だった。SNS への画像掲載について参加団体より問題提起があった。実行委員会で検討しルールを策定したが、参加団体を含め周知が遅れてしまった。

広 報 1) PR イベント

- ・1月26日（日）11:00～14:00 場所 横須賀中央駅 Yデッキ下広場 参加団体 3 団体
※雨天により中止（有志 20 名により同場所でプログラム配布を実施）
- ・2月8日（土）11:00～14:00 場所 リドレ横須賀 参加団体 4 団体

2) PR 展示

- ・1月12日（日）～1月25日（土） ・1月26日（日）～2月6日（木）
場所 サポートセンター 活動紹介コーナー センターエリア及びフロントエリア
- ・2月3日（月）～2月7日（金） 場所 横須賀市役所

3) ポスター・チラシ配布 市内各公共施設・学校・銀行・店舗 その他

4) 広報記事掲載・放送 広報よこすか、情報誌のたろん、のたろん通信、他各媒体

5) PR 番組放送 FMブルー湘南 1月22日(水)、2月5日(水)15:00～15:30 (参加団体7団体)

6) Facebook PR 動画 参加団体 6 団体

参加団体報告書及び実行委員、運営ボランティア、スタッフ アンケートより抜粋

(○良かったところ △改善すべきところ ◆提案)

△参加団体交流スタンプラリーが上手く活用されていなかった

◆季節柄入口3か所に消毒液を設置して欲しい

△冬の時期に外のイベント（PRイベント）開催は再検討が必要と思います

○パネル設置がなかったので会場全体の見通しが良く、他団体の様子も良くわかり交流もできた

△館内フリマでブース間が狭く出入りする際に販売物にぶつかり落としそうになった

◆参加団体が交代しながら入り口3か所付近で来場者にプログラムを配布してはどうか

△パフォーマンスコーナーで発表が始めると観覧者で混雑し流れが悪かった

○原状復帰の際、時間を決めて一斉に作業を開始したので良かった

○2日間天候に恵まれ、多くの来場者にきていただき楽しく参加することができました

